



園長 引地美津代

晴天の中、みんなで頑張った運動発表会。いかがでしたか？毎年、保護者の方々の参加が増え、狭い園庭でどうなるかと心配しましたが、皆さん譲り合ってお観覧いただき、ありがとうございました。当日、どうしても緊張してできなかつたり、興奮のあまり一人行動をしたり、泣いてしまったり、こどもたちはいつもの様子の違いにびっくりでした。また、いつも以上に張り切って鉄棒やサーキットを頑張ったり、今年の異年齢競技は3学年のいつも通りの関わりが見られ、日頃の保育経験中での関係性が見られました。かえで保育園では、子どもたちの思う行動や言動を保育者がとめたり、ことばを先走りして話したりするのではなく、じっくりと一人一人の成長を見ながら関わっていきます。昨年出来なかったことがその次の年、又その次の年と必ずそのお子様らしい成長をしていかれます。毎日の生活の中で繰り返していく事が子どもの力となりその力がいつかどこかで役に立つ時がまっています。こうでなければならぬ『子育て』はありませんし、こうする！！・・・は子ども自らが考えて行動できたら素敵ですね。これからもそっとかえでの子どもたち85名のそれぞれの成長を見守っていただきたいと思います。アンケートもたくさんの方々にお答えいただきました。励ましや感想をいただき、ありがとうございました。次年度に反映していきます。

さて、今月も、園庭にも新しい発見がありました。昨年頂いた「ミカンの木」が27個も実をつけてくれました、いぶきとだいちのペアで一個、ひかり同士のペアで一個ミカンの木に感謝しながらもぎ取りました。皆で味わって頂きます。

そして、お知らせしていましたが、『スギ玉』もおじいちゃん・お父さんの協力で何とか基礎ができました。

28日の日に白鹿の竹内さん・阿部さんにご指導いただき何度もやり直ししながら作り方を教えていただき29日の土曜日にここまで作りました。

あとはゆっくりきれいな玉になるよう散髪していきます。最終だいちさんにもはさみを入れてもらおうと思っています。11月初旬には、玄関に飾ります。お楽しみに！



10月のある日、松の木の下にベンチといすを置きました。皆でどこに置くか相談し、決めました。

おままごとやお話しをするのに松の木がちょうどよい影を作ってくれればえちゃんから園庭開放で来られるお母さんにも座っていただいています。

11月の保育参加の際には一度かけてみてください。ちょっとほっこりした気分になっていただけたと思います。

かえでほいくえんは3年前に保育園の評価を受けました。子どもの関わり方や保護者の方々への対応、保育の内容の充実等、保育園を熟知した評価者が丁寧に確認してくださり、保育の見直しをして3年経過しました。28年度も再度、様々な視点から保育園の自己評価をし、12月の15・16日に第三者評価を受審します。その前に保護者アンケートをお願いします。これは評価機関に直接お送りいただきますので、お答えいただきたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。11月8日にお渡しします。

11月はふたば組からだいちまでの保育参加期間です。今年は新たに4クラス同時に行いました。たくさんの方々の保護者の方々になりますが、どうぞ、いつもどんなお友だちと遊んでいるか、先生と関わっているかご覧いただきたいと思います。また、かえで保育園の子どもたちはどのお母さんにもお父さんにもお話ししたり、抱っこしてもらったりすることを楽しみにしています。どうぞ、様々な子どもたちともかかわってみてください。よろしくをお願いします。

にこにこメッセージ♪

10月は秋風が吹き肌寒さを感じる時もあれば、夏のような日差しを感じる時もあり、体調管理が難しかったですね。

そんな中、園庭の草花も季節により変化が見られました。夏に植えた七色のハゲイトウ（観賞用トウガラシ）に色とりどりの実がなる頃、次々とこどもたちが“いいものみつけた”とばかりにそーっと摘んであそびに使っていました。観賞する楽しみも続いてほしいと思いたいちぐみのこどもたちに“とらないでね”という札を作ってもらいましたが、その札はふたばぐみのこどもたちが“いいものみつけた”とどこかへもって行ってしまいました。数日がすぎると、またまた実がなり白い実がつかれましたが不思議なことに白い実には誰も見向きもしません。そして数日後、七色に色づき始めた気づいた途端に実はまたまたどこかへ…こうして子どもたちの植物への興味は芽生えています。育てる楽しみも味わってほしいですが小さな頃は、触ったり、匂ったりしながらたくさんの植物との出会いができるよう園庭にもわくわくするような仕掛けやあそびを提供していきたいと思っています。

主任保育士 藤森寿美

～乳児からのお知らせ・お願い～

- ・寒くなってきましたので、ロッカーの中の衣替えをお願いします。半袖の服も用意しておいて下さい。また、記名のご確認も再度お願いします。
- ・上着は、ひもを付けて上着掛けに掛けれるようお願いいたします。（ふたば、つぼみ）

～幼児からのお知らせ・お願い～

- ・外靴の記名と、サイズの確認を再度おねがいします。

〔せんせいからのおはなしコーナー〕

秋も深まり肌寒い風が吹くようになりました。

私は産れも育ちも西宮で、今は上ヶ原のほうに住んでいるのですが、この時期になると朝晩はとくに冷え込み、毎日の自転車通勤のなかでどう寒さを防ぐか、考える毎日です。

家を出発すると同時にとても長く急な坂道を下っていくので毎回息が止まりそうになるほどですが、園に着くころには体はほかほかになります。他の先生から「遠いし、しんどくない？バスで出勤したらどう？」と声をかけられることもあるのですが、季節ごとに自転車通勤の楽しみがあります。朝の太陽の光を浴びながら走ることも気持ちがいいですし、ふと今日はどんな月かなと見上げることも好きです。今の時期は特にあちらこちらから金木犀のとってもいい香りがして、そのいい香りを嗅ぎながら自転車を走らせることも毎日のたのしみです。

気分によって道を変えたり、時には寄り道をしたりしながら自転車通勤を楽しんでいます。

バスや電車での通勤にも惹かれることもありますが、今後も自転車通勤を楽しみたいと思います。

林 奈津美

ねらい：「寒くなっても元気に体を動かす」

う た：「いとまき・げんこつやまのたぬきさん・オスワリヤス・せんべせんべ」

運動発表会で見ていただいた鉄棒やトンネル。発表会が終わってからも鉄棒を見ては近づいていき手を伸ばしてぶら下がろうとしたり、お部屋にしまっているトンネルを引っ張り出して「これやって！」とキラキラした目で持ってきてくれたりしています。夕方には体操のCDを聞いては両手を上げたり体を揺らしたり。しゃがんでばあ！とするとところでは「ばあ」を一緒にやってみたりとまだまだ興味津々なめばえさんです。寒くなってきましたが、今後も体を動かして元気に過ごしていきますように。



“ふたばさんといっしょ”

隣のお部屋のふたばぐみに朝の時間・ご飯の前・夕方の空いた時間に遊びに行くことが多くなり、一緒に過ごす時間が増えてくるとだんだんと顔を覚えてきたようです。ふたばさんが「〇〇ちゃん？」「△△くん！」とお名前を呼んでくれるのにっこり笑って見つめ合い嬉しそうにしています。ふたばさんが作った電車を真似して長い線路を作ったりもしています。最近では、ふたばさんバギーに乗ってお散歩にも行きました。お兄さんお姉さんがバギーから「くるまいっぱい」と教えてくれるとめばえさんも「ぶーぶー」と言って一緒に指を差しては喜んでいました。



“新聞紙あそび”

空いた時間に新聞紙を出してくると、みんなの顔が「？」に。先生が1枚ずつ新聞紙を破ると少しずつ手を伸ばし始めました。大きな紙を先生と一緒に破ってみると「ビリビリッ」と大きな音が！面白かったのかもう一度自分で手に取り新聞紙を破ろうとします。また細かく破った新聞紙を見つけてはゆっくりと2本の指でつまんで「どうぞ！」と見せてくれます。また、最後に袋に入れてお片づけを始めると見よう見まねでお方づけもしてくれました。



“自分だけの世界”

お部屋にある型落とし。前までは少しやったらおしまい、だったのですが、最近は容器いっぱいになるまでチェーンを入れては「(蓋を)あけて」と先生のところへ持ってきてくれます。そしてもう一度・・・としばらくの間楽しんでいました。何種類か型落としがあるので、形が違おうと入らないことも。

穴の形をよく見てそろ〜っと入れていく真剣な顔のめばえさんはカッコよかったです。

“担任の思い”

散歩に出かけて保育園の外の世界に触れる中で様々なものを発見しては、指を差したり目が輝いたり「あっ！あっ！」と言って教えてくれたりしています。子どもの発見はそれぞれで、反応もまた異なります。バギーに乗って“車”を発見しても、一人の子は「車だ」と思っているかもしれませんが、もう一人の子は「大きいなあ」と大きさに驚いているかもしれません。まだ言葉で表現するのが難しい時期ですが、その子どもの心の中を出来るだけくみ取って感じたものを一緒に共感できたらと思います。そのために一人ひとりの表情、目で追っているものをそばで私たちも楽しんでいきたいと思います。

ねらい：「散歩に行こう」

う た：「きのこ」「大きな栗の木の下で」「さかながはねてピョン」

わらべうた：「かごかご」「ドドッコヤガイン」「ぜんぜがのんの」

運動発表会では、保護者の方々に見守られながら緊張しつつも、鉄棒やトンネル、子どもたちの園での姿をご覧いただけたかと思います。サーキットの手形のアーチは子どもたちが自分で好きな色を選びました。この色がいい！おともだちと一緒にする！どれにしようかな～とそれぞれ選んでいました。運動発表会後も園庭に出ると「よ～いどん！」「まてまてして～」と追いかけてっが始まっています。これからどんどん寒くなってきますが、体を動かして過ごしていきたいと思います。



～交通公園へ～

めばえ組、ふたば組で交通公園までお散歩にいきました。銀杏の木が緑から黄色に色づき「はっぱあるね～」「くるまいっぱいね」と楽しそうに話をしながら公園に着きました。公園に着くと「あれしたい」「こっちいこっか」と話をしながら公園内を歩いたり、めばえ組のお友達が遊ぶ姿をじっと見つめては「あっちいく？」と誘ってみたり一緒に手を繋ごうとしたりと少しお兄さんお姉さんになって「おいで～」と声をかけながら一緒に遊んでいました。帰りには「あ！どんぐり！」とまだ緑色のどんぐりを見つけると「どんぐりころころ～」と歌いながら保育園まで帰りました。保育園に帰ってくると「どんぐりある？」とどんぐりの木の下に集まりみんなで探していました。どんぐりやまつぼっくりとこれからどんどん実ることを楽しみにしているふたば組です。



～これ読んで！～

自分の好きな具材をお弁当に入れご飯を作ったり、赤ちゃん人形のお世話をしたり、線路を繋げて長い電車を繋げたりと各コーナーで遊びが充実してきました。その中でも子ども達から「せんせい、わにわに読んで」「おつきさま、こんばんは」と部屋に置いている絵本を読みます。

次は何かな～と話す「〇〇行くよ～」出てくる動物の真似をしたり、絵本の内容を覚えている子もいます。台詞が繰り返す箇所は近くにいる友だちと嬉しそうに絵本の中の主人公の真似をしています。



“担任の思い”

園庭のすべり台で風を感じたり、園庭に出ると「ちょっと寒いね」とお友達と一緒に季節を感じながら話すことが増えてきました。最近「せんせいみてよ」「せんせいきて」と自分ができるようになった事を見せてくれたり、お友達に見せると「すごいね」と拍手をもらい思わず笑顔がこぼれていました。ままごと遊びや人形遊びと一緒にすることも増えて「ちょうだい」「どうぞ」と譲り合う姿も見られます。まだまだ、言葉で伝えるのが難しい時もありますが、保育者が子どもたちの言葉を代弁してお互いの気持ちを知ることができるようなになればと思っています。

ねらい：「友だちといることの楽しさを感じる」

う た：「まつぼっくり」

身体を動かすことを“たのしい”と感じるようになり、自ら走るようになったつぼみ組。運動発表会では、昨年に比べて泣かなくなっていたり、一人で歩くことができたりそれぞれに大きくなった姿を見ていただけたのではないのでしょうか。つぼみ組になって半年が過ぎました。これからの時期はどんどんと幼児へと近づいていく半年になります。心も身体も少しずつたくましくなっていく時期ですので、“できた”“うれしい”“がんばったよ”と感じたことを一緒に喜んで“やってみよう”の自信になるように認め、励ましていきたいです。

“これからよろしくね”

夏ごろから、つぼみ組のおやつが終わる頃にお世話に来てくれていたひかり組のお兄さん、お姉さん。ひかり組が来てくれるだけで、とてもうれしそうに話しかけにいくつぼみさんです。そのお兄さんたちとペアを組み、初めての活動は散歩でした。テラスで自分の靴を一生懸命履くつぼみさん、お兄さんたちが出てくるとみんなが名前を呼んで近くに来てそっと手をつないでくれました。



関わりが少なかった子とペアになる子もいました。お互いにドキドキしている中で散歩へでかけました。出かけた先は、お馴染みの東三公園。東三公園を知っているというところでお互いにほっと安心したのか手を繋いで公園内を走り始めました。2人組でのお題は“宝物をみつけてきてね”でした。探し始めるとペアの個性がそれぞれに見えてきました。公園内を歩いてお姉さんと同じものを見つけて喜んでいたり、“宝物”を見つけることに夢中になっていつの間にかばらばらになっていたり、「どんぐり探しに行こう」とペアの子にお願いしてみたりしていました。

初めてでドキドキしていた様子でしたが、これからは、着替えを手伝ってもらったり、ランチルームでの食事の仕方も教えてもらいます。次第に担任よりもお世話係のお兄さん、お姉さんに頼ることが増えていき、どのような関係になっていくのか楽しみです。

“どうしたの？だいじょうぶ？”

自我が強くなってきた今の時期、子どもたちの生活の中で玩具をめぐるトラブルはどうしても起こってしまいます。以前までは、保育者が「どうしたの」「〇〇が使いたかったんだね」と声をかけていましたが、最近声をかけずに見守っていると友だち同士で保育者と同じように声をかけてくれるようになりました。取り合いをしている本人達も声をかけてくれたことで少し落ち着き「使いたかったの」と自分の思いが言葉にできるようになってきています。子どもたちで話しているといつの間にか解決をして仲良くあそんでいることが多々あります。それは、クラスの子が泣いているときだけでなく、めばえ・ふたば組の子が泣いていてもそっと近くにいて顔をじっと見つめ心配している子どもたちの優しい心は素敵ですね。



“担任の思い”

友だち同士の会話や保育者の言葉を真似て話して、言葉の数が一段と増えたように感じます。昼食の時にも「いただきます」という子どもたちに対して「どうぞ」と言い続けていると、子どもたちも自然に私たちが「いただきます」といったときに「いいよ」と声をかけてくれます。それだけ保育者の言葉を聞いているのですね。トラブルもたくさんありますが、心優しい子どもたちにもいつも自分を見つめ直す機会をもらっています。つぼみさん、いつもありがとう。 須藤聖美 三谷梨緒 高田奈沙

ねらい：「たくさん体を動かしてあそぼう」

う た：「こぎつね」

先月は運動発表会で行った競技や他クラスがしていた競技などを真似したりとお友達と一緒に楽しんで遊ぶ機会がたくさんありました。トラブルになり怒ったり泣いたりする中でお友達の気持ちにも少しずつ気づきはじめて子どもたちは、お友達の様子をみて「〇〇したかったのかな？」と寄り添って考えてくれる姿もありうれしく思います。

かぶの栽培



白かぶの種を植えて栽培が始まりました。見る見るうちに葉は大きくなりました。虫に食べられた葉を見て、誰が食べるのかと観察しているとアリやバッタに出会ったりと色々な発見があります。お部屋に置いてある“おおきなかぶ”の絵本もよく見ているので「おおきなかぶになったらどうする?」「うんとこしょしなあかね」「おっきい包丁もないと!」と、どんなかぶが収穫できるか想像しながら楽しみにしています。

船づくり



6月頃から興味を持っている船に注目し、みんなで乗れる船を作りました。絵具で真っ白に塗った段ボールの上にクレパスで思い思いの絵を描きました。お花を描いてかわいくしてくれるお友達や手形をとって窓のように描くお友達など様々でした。

“船をつくる”という目的をみんなで理解できるようにもなり、作りながら「旗がいるんちゃう?」「じゃあ何色でつくろっか」とお友達との会話も広がりました。イメージしたものを作り上げていく楽しさを味わえたように思います。積み木で囲いを作って船をつくり皆で乗って遊んだり船遊びを楽しんでいます。

お友達とゲームあそび



お友達との関わりが増える中で“順番・交代”などもできるようになってきました。じゃんけんで順番を決めたり、サイコロをお友達に渡してあげたりと一緒に「1, 2, 3…」と数えながら遊んでいます。「これしよう」と自分からお友達を誘いながら一緒に遊んでいます。

“担任の思い”

運動発表会を通してかけっこや鉄棒などで遊ぶお友達が増えてきました。朝夕と寒く感じる日も増えてきましたが体を動かして体を温めながら元気いっぱい遊びたいと思います。“だるまさんがころんだ”や“あぶくたつた”など皆でどンドン一緒に遊んでいきます。またお友達と喧嘩になった時には自分の言葉で思ったことやしたいことなどを伝えられるように一緒に考えて話し合えるよう声をかけていきます。

足立 真裕子

ねらい：「いろいろな友達との関わりを深める。」

う た：「くだものれっしゃ」

10月の運動発表会では、いぶき組からまた一つ成長したひかり組の子どもたちを見て頂けたかと思えます。始めはなかなか二人組や三人組が作れないでいましたが、何度も繰り返し二人組をつくってあそぶことで、さまざまな友達との関わりを楽しむことができるようになりました。サーキットでの「くまとお芋」という遊びや、電車ごっこを通して子どもたち同士の関わりを見て頂くことができ良かったです。11月では、いよいよ本格的につぼみ組とペアを作って遊ぶことも始まります。今よりもっとたくさんのお友達との関わりを楽しんでほしいです。

“電車をつくろう”



お散歩で電車を見に行ったことをきっかけに、電車への興味が更に深まり、「ひかりさんの電車が作りたい！」という話が出ました。

はまグループ、かぜグループに分かれて、それぞれ意見を出し合いながら電車をひとつずつ作りました。何色にするのかということから、「特急だから赤がいい!」「でも青もかっこいいなあ。」など、自分の意見を言うだけでなく、お友達の意見にも耳を傾けている姿も見られました。お散歩で見たことを思い出したり、

図鑑で調べたりしながら窓や車輪など一生懸命付けていました。また外側だけではなく、中側までハンドルやつり革、「テレビが何個もあったら素敵やね。」など相談しながら作りあげていました。どちらのグループもみんなの思いがたくさん詰まった素敵な電車が出来上がりました。



“線路を描こう”

運動発表会で電車ごっこを楽しんだ次の週から、ひかりさんの線路への興味が出てきました。園庭に指や石で線を引き、回り道やふみきりも付いた線路のお絵描きを楽しむ姿が多く見られるようになりました。そこで、チョークを使って駐車場にいっぱい線路を描きました。

「え!描いていいの?」と大喜びで、色とりどりの線路作りが始まりました。始めは一人でじっくり描いて

いたお友達も、「線路つなげようよ!」「一緒に電車描こう!」など声をかけ合う姿も見られ、お友達同士でイメージを一緒に楽しむ姿も見られみんなで楽しい時間を過ごすことが出来ました。

“担任の思い”

お散歩で阪神、JR線を見に行ったことや電車づくり、線路のお絵描きを通してどんどん電車への興味が深まってきました。それぞれの体験を通して発見や不思議が広がり、遊びを楽しんでいる姿もみられます。子どもたちの「これ楽しい!」という発見や「これってどうなってるの?」という不思議に思う気持ちを大切にしていきたいです。

一つひとつの思いに寄り添いながら、手を引っ張って行くのではなく、後ろから支えていくことができるように進めていきたいと感じました。

林 奈津美

～だいちぐみ～

ねらい：「初めて会う人と関わりを持つ」「友だちの存在を喜び、安心して過ごす」

う た：「少年少女冒険隊」「ともだちっていいな」

10月は運動発表会の異年齢競技、いぶきさんとのスイートポテトクッキング、幼児クラスのバス遠足と、他クラスのお友だちと関わる機会も多くありました。就学前健診があったことで、「え、何聞かれたの？」とドキドキしながらも、小学校というものを少し意識し始めるきっかけとなったのではないのでしょうか。11月はお泊り保育や小学校の交流も予定しています。小さな集団から外の世界へ踏み出す準備でもありますね。お泊り保育では子どもたちがわくわくするような内容を考えています。気持ちも考えも成長する月になります。お楽しみに。

“できる、絶対できる”

10月の運動発表会では、「だいち組 16人の組体操、どうなるの?!」と心配される声も沢山聞かれましたが、私たちの心配をよそに、当日は心を一つに素敵な姿を見せてくれましたね。その裏で様々な思いがあったこと、子どもたちが見せてくれた“実は…”なエピソードをお伝えします。



運動発表会終了後、フリールームに集まり一人ずつお土産と共に担任から言葉を送りました。

最後に両手を広げると、16人全員がとても良い表情で全力で飛び込んでくれました。

「Aくん」「はい!」前に出てきたAくんの表情は何だか普段より強張って見えました。「A君が本当は組体操で一番上をしたかったこと、知ってるよ。」そう声をかけた瞬間、Aくんの表情が一気に緩みました。「だからこそ、違う場所で頑張ってみて欲しかったんだ。それでも最後まで自分の場所を一生懸命やり遂げてくれて、ありがとう」そう言い終えた時には、Aくんも私も涙が止まりませんでした。きっと緊張の糸が切れたことで、涙が溢れたことであっただけでしょう。しかし組体操の演技中、担任も知らないAくんの姿があったのです。

その姿は、組体操でサポート役として傍にいた保育者が見ていました。3人技でAくんが土台となり友だちが背中にのる瞬間のことです。「できる、絶対できる。」周りに聞こえないくらい小さな声で、Aくんはそう唱えていたそうです。自分自身に対してなのか、上に乗る友だちに向けてなのか、本当のところは分かりません。しかし、練習で技が上手くいかずだいち組全体が重たい雰囲気にも包まれた時、「自分で出来るって思ったら、出来るよきっと。」と友だちがかけた言葉が、もしかするとAくんの心に残っていたのかもしれない。運動発表会終了後に知ったことでしたが、実は練習の時からすでにAくんはこの言葉を呟いていたそうです。

“たねコレクション”

かぼちゃの種、メロンの種…種から芽が出て実がなる自然の流れに関心の強いだいちさん、ひかり組の頃から昼食に出た果物の種を集めることが、好きでした。今年ももちろん種と聞けば、「取っとう」と誰からともなく聞こえてきます。



「飲むヨーグルトの入れもの、持って来たよ」初めは色水を入れるためにBくんがおうちから持ってきてくれていた容器が、今では種コレクションに大活躍です。気付けば金木犀も水に浮かんで仲間入りしていました。“集めること”に注目して始めた種コレクションでしたが、手に馴染むその形から自然とマラカスのように振って音を楽しむ姿も出てきました。「ねえ、こっちはこんな音」音の違いにも気づき、2つ交互に鳴らして音当てクイズまで発展しています。一つの興味からまた一つ、面白いものをどんどん見つけては広げていくだいちさんの姿を見てみると、こちらまでわくわくしてきますね。

“担任の思い”

決して運動発表会当日が全てではない、そこに至るまでの過程が成長そのものであることを、子どもたちの姿から改めて感じました。また、かえで保育園では担任に限らず職員全員で成長を喜び見守っています。沢山の暖かい眼差しを感じながら、子どもたちが新しい一歩を踏み出せる、そんな環境でありたいです。

今回は友だちと力を合わせることを経験しただいちさんですが、まだまだ相手を責めたり強い言葉も聞かれます。信頼したり信じてもらうことで、互いに安心できる存在であって欲しいですね。

河本 彩奈

保護者の方からのおはなしコーナー

言葉ができるのが少し遅い息子で、最近やっと2語文がちょこちょこ話せるようになってきました。はっきり聞きとれない事の方が多いですが、たまにはっきり聞こえると嬉しく思います。最近はお友達の名前も少しずつ覚え、「〇〇ちゃんといた」など言えたりします。子どもの成長に毎日驚かされています。

ふたば組 よしみさん

幼児クラスで過ごす日々は、たくさん吸収することがあるようで、行動も言動も、ずいぶん成長を感じられるようになりました。

幼い頃からしっかり者の我が子から、「今〇〇やってるでしょ、順番にならんで〜」とか、「手洗いはこうするねん」と指導を受けたりと、忙しく楽しいです。

いぶき組 ゆみさん

去年の運動発表会は朝離れる時から大泣きで、入場後も私を見つけるとみんなの輪を抜けてべったりだった娘。

今年はさすが幼児さん！！

とても張り切って頑張っている姿を見せてくれました。一生懸命手を振りアピールする娘に、大きな成長を感じた成長発表会でした。

いぶき組 あきさん

娘は保育園の乳児クラスのお友達のことをよく話してくれています。みんなとってもかわいいようで、楽しそうにニコニコ笑顔で教えてくれます。私も知らないお友達もいるので、今度保育参加で出会えるのかなーと楽しみです。

ひかり組 めぐみさん

運動発表会の少し前のこと、その日は私の仕事の帰りが遅くなり、帰るとパパと息子はスヤスヤ眠っていました。そして、リビングへ行くと暗がりの中から巨大な物体が・・・。

「何これ？えっ～虫？？ギャ～！」となり、慌てて電気をつけるとそれは、息子作の虫でした。次の日聞くと「これは、ウリハムシって言うんだよ！！」と息子が作ったものだと分かりホッと一安心でした。虫嫌いの私には突然の巨大な物体に怖くて慌てましたが、運動発表会の日には、たくさん様々なウリハムシの登場に「こういうことだったのかー！！」とよく分かりました。本当はとってもとっても小さい虫と図鑑で調べると分かり、いろいろと子どもから学ばされることがありました！

だいち組 たかこさん

たくさん練習をして、ようやく乗れるようになった竹馬で入場してきた姿を見て、良かったーと一安心。その後は、どの競技も全力で頑張り、最後の組体操。真剣な表情でピシッと決めてさすがだいちさん！！と成長を感じました。

発表会后、先生に手を引かれ私のもとへやって来た娘は涙。緊張から解き放たれ、安堵の涙だったとの事でした。体だけでなく、感性も豊かになっていると成長を感じる運動発表会でした。

だいち組 とみこさん

最近、ちょっとずつお喋りが上手になってきましたが、いろいろ言い間違いが。中でも、一番かわいいのが、「〇〇してごらん」を「〇〇してみやん」と言うのが何とも言えず、ついつい真似して言うと照れてにこにこしています。

つぼみ組 めぐみさん

～お台所から～

秋風が吹き肌寒い季節から、朝夕は冬を感じる気温へと変化していきます。11月は少しずつ旬の冬野菜を取り入れ、体が温まる献立を取り入れます。

10月の食育活動の様子

おやつのだらやき

生地は手作りで用意、幼児クラスの子ども一人ひとりが好みの餡を選び、自分ではさみどらやき完成！餡は手作りのさつまいもの餡とこしあん、それぞれ好みの食べ方で「両方がいい！！」という子どもたちもいたり、ボリュームのあるどらやきを食べる子もいました。

栄養士からお誕生日ケーキ

9月から幼児クラスはホールケーキで提供できるようになりました。前々から試作を重ねおいしいケーキのレシピが完成しました。もちろん乳児クラスのこどもたちも同じレシピで作っています。10月のケーキは旬の果物（りんご、青りんご、ラフランス）を使いました。

11月のケーキにのせる果物は思案中です。お楽しみに！

*当日使う食材を展示したり、お昼の食事の時に食材の説明をしてきたことで、「この野菜知ってる」「この間食べた野菜だ」など、食材の名前を覚えてくれている子どもたちが多くなっています。今後も様々な食材に興味をもってもらえるよう、食育活動を進めていきたいと思います。

11月 旬の食材

鮭	鯖	さんま
ごぼう	さつまいも	こまつな
だいこん	りんご	みかん

11月に予定している食育活動

はくさいをちぎる・・・つぼみ組

すり鉢ですりゴマ作り・・・いぶき組

もちもちぱん作り・・・ひかり組

みそ汁作り（出汁作りから仕上げまで）・・・だいち組

10月のお誕生日ケーキです



あんことさつまいものどら焼き（幼児）





- ・11月11日～12日はだいち組のお泊まり保育です。土曜日保育にご協力頂き、職員全員でお泊まり保育を見守ることができます。本当にありがとうございます。思い出多い2日間にしたと計画しています。
- ・11月1日(火)～30日(水)はふたば組からだいちの保育参加です。半年経ったお子さまの成長をみて頂き、担任から様子をお知らせします。お昼の食事の時間も楽しみに興し下さい。めばえ組は12月6日に保育参観とクラス懇談会を予定しています。

こんなことしたよ♪

10月15日(土)は運動発表会を行いました。

秋晴れに恵まれた中、子どもたちのこれまでの成果や成長した姿を保護者の方に見ていきました。緊張した子どもいたのですが、みんな生き生きとした表情で本当に楽しそうに競技に参加していました。今年もたくさんの保護者のみなさまにご協力頂きスムーズ進行を行うことができました。お手伝いくださいました保護者のみなさま、ありがとうございました。



25日(火)は幼児クラスのバス遠足がありました。あいにくのお天気だったので、王子動物園行きを変更し、神戸バンドー科学館にいきました。子どもたちは珍しい展示物に興味津々だったようで、実際に触れたり、ゲームをしたりしながら施設内を楽しみました。またバス内では、先生たちによるクイズを行い大盛り上がりでした。お弁当は異年齢で美味しく食べました。お忙しい中、お弁当の準備ありがとうございました。



★お願い★

- ・これからインフルエンザなどの感染性疾患が流行ってきます。保育園でもうがい・手洗いなどの対策をし、空気の入替え、対策をよろしくお願ひします。早めに体を休めることも重篤にならない秘訣です。朝、いつもと違う様子の方はゆっくりさせてあげてください。
 - ・保護者用名札(黄色)を着用せずに登園される方が増えてきました。セキュリティを強化しますので必ず着用してください。
- ☆保育園に登降園の際、事務所前のアルコールでの手指の消毒を励行してください。



11月の予定

1日(火)～30日(水) 保育参観(ふたば～だいち)
*詳細はおたよりを配布していますのでご確認ください。

4日(金) だいち甲山登山

7日(月) 絵画

11日(金)～12日(土) だいちお泊まり保育

16日(水) 13:30～西宮市の監査

18日(金) かえでカフェ(クッキングのお手伝い)

21日(月) 月例健診

22日(火) だいち松秀幼稚園交流

25日(金) 職員園内研修

29日(火) 絵画

30日(水) 誕生会(予定)

～全園児対象秋の健診のお知らせ～

1日(火) 13:30～耳鼻科健診

28日(月) 14:30～眼科健診

29日(火) 10:00～歯科健診

12月の予定

2日(金) おもちつき

5日(月) 西宮市児童交流会(だいち組参加)

15・16日(木・金) 第三者評価受審

21日(水) クリスマス会

29日～1月3日 冬季休暇